

アンコールワットの魅力と カンボジアの今



1月28日(土)に旭陽公民館で、山口文代さんを講師に「アンコールワットの魅力とカンボジアの魅力」という国際理解出前講座を開催しました。

山口さんは、シムリアップにある日本語学校を長年にわたって支援しています。

カンボジアの地理や日本からの行き方、国旗の話に始まり、参加者の皆さんもすぐに話に引き込まれました。簡単なクメール語講座では大きな声で唱和して楽しい雰囲気の中で講座がすすめられました。

カンボジアを語る上では、ポルポト政権による虐殺や現在も犠牲者を出し続けている地雷の問題など、悲惨な現実について避けて通れません。手足を失い物乞いをする少女、片足を失いながら小さな赤ん坊を抱える男性の写真など、山口さんが撮影してこられた写真が多くのことを語りかけるようでした。300円でできる地雷を撤去するのに10万円かかるという話に、参加者のみなさんは息をのみ、驚いていました。



最後にアンコールワットの遺跡群についてのお話がありましたが、迫力ある写真が満載で、随所に神話をモチーフにしたレリーフや仏像が配された遺跡群は、まさに世界遺産の名にふさわしいものです。参加者の方から「旅行に行ってきた気分」という声も飛び出しました。